

社会貢献、情報発信

社会貢献活動

クボタは環境に関する知識の普及や、環境に関する研究の支援などに加え、地域の環境保全・美化など幅広い環境活動に取り組んでいます。

ヒューテックセミナー

教育分野での社会貢献と若者たちに環境に対する意識をもってもらうことを狙いとして、科学に興味をもつ中学生・高校生を対象に、日々進歩していく科学知識を分かりやすく解説します。

講義2回と課外授業1回を合わせた3回シリーズを年2回、東京と大阪の2会場で開催しています。(朝日新聞、朝日カルチャーセンター主催。1985年からスタート)



寄付講座の開設

京都大学において「水資源総合計画講座」を開設しています。講座の研究目的は、水源の枯渇と汚染を防ぐために、水源の個別管理ではなく、流域総合管理を提言することです。具体的には、琵琶湖や淀川水系でGIS(地理情報システム)データを用いた「水量・水質総合シミュレーションモデル」を開発し、水資源の統合的管理手法を確立をめざしています。

アクアカルチャー基金

クボタは「アクアカルチャー基金」を通して、水の研究・開発を支援しています。

水道をはじめとする“水”とともに発展してきたクボタが、創業100周年記念事業の一環として、1990年に基金5億円をもとに創設したアクアカルチャー基金は、上下水道・農業用水・工業用水など広く“水”を中心とした分野を対象に、水の文化を担う内外の人材の育成と、水に関する新技術の開発・科学技術の発展に貢献することを目的としています。



「水道の近未来像」を考えるフォーラム

地域貢献活動

クボタの各事業所では近隣の河川、道路、公園などの清掃や草刈りなど、地域の皆様と一体になって地域の美化・環境保全活動に取り組んでいます。また、船橋工場のビオトープ「クボタ船橋の森」にはトンボの池が完成し、環境保全と地域に開かれた工場づくりに貢献しています。



河川清掃(滋賀工場)

情報発信

クボタが長年にわたって取り組んできたさまざまな環境活動への理解を深めていただくため、インターネットや広報誌などの媒体を通して、幅広い情報を提供しています。

環境家計簿運動

毎月、環境家計簿を記入して家庭のCO₂排出量を把握することにより、地球環境保全意識の向上を図るとともに、地球温暖化防止に寄与することを目的としています。

1999年1月からスタートしたこの運動には、従業員212世帯(1.4%)が参加しており、1999年1~12月の年間一人当たりのCO₂排出量(炭素換算)は474kgでした。今後さらに運動の普及、CO₂排出量の削減を図っていきます。



環境家計簿

ホームページ

クボタは1996年8月より、環境ホームページを開設しています。環境ホームページは、環境経営、地球環境問題に対する取り組み、地球環境憲章、社会貢献・PR活動、最新環境情報



(ISO関連)、環境意識占いからなり、「人とともに、自然とともに地球環境をみんなで考える」クボタの取り組みを紹介しています。

環境ホームページアドレス

<http://www.kubota.co.jp/kubota-ep/welcome.html>

広報誌『GLOBAL INDEX』

クボタは砂漠の緑化や環境施設事業に数々の実績をもっています。広報誌『GLOBAL INDEX』(グローバルインデックス)は、そうしたクボタの企業文化について掘り下げるために創刊されました。誌名は、クボタの多彩な事業分野の個々のインデックス(索引)すべてが幅広く社会に貢献していく、という意味から名付けられたものです。



クボタ船橋工場のビオトープ



グローバルインデックス

